

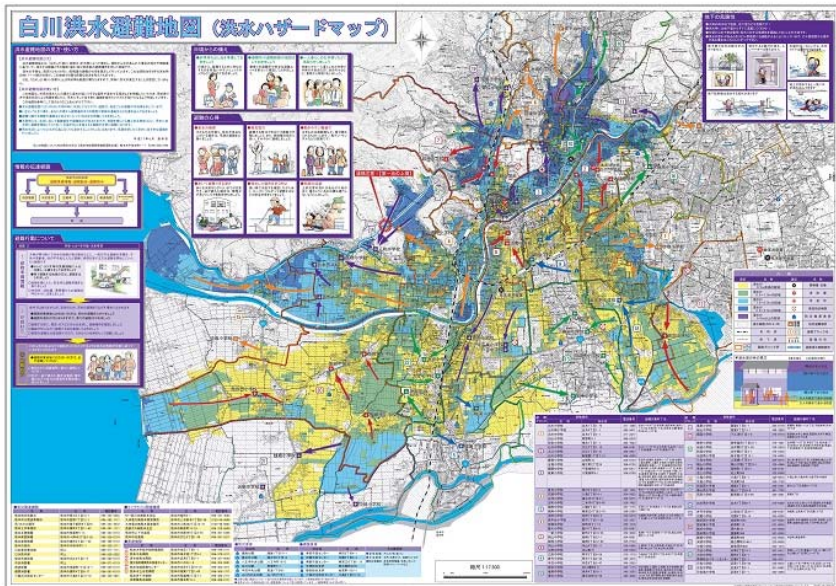
洪水から身を守るために知っていただきたいこと

熊本地震により、河川の堤防等に多数の変状が生じました。緊急的な復旧工事は完了しましたが、本格的な復旧工事が完了するまでの間、避難勧告等の目安となる洪水予報の基準水位を引き下げています。(別紙1)
洪水から身を守るために、降雨の際は、早めの避難をころがけてください。

的確な避難を行うために

- 事前に洪水ハザードマップで浸水が想定される区域や避難場所等を確認してください。
- その上で、降雨や河川水位の情報、自治体から出される避難勧告等をもとに早めに避難をしてください。

<事前に水害ハザードマップを確認>



「国土交通省ハザードマップポータルサイト」
から、水害ハザードマップが入手できます。
<http://disaportal.gsi.go.jp/index.html>

<降雨や河川水位の情報等を確認>



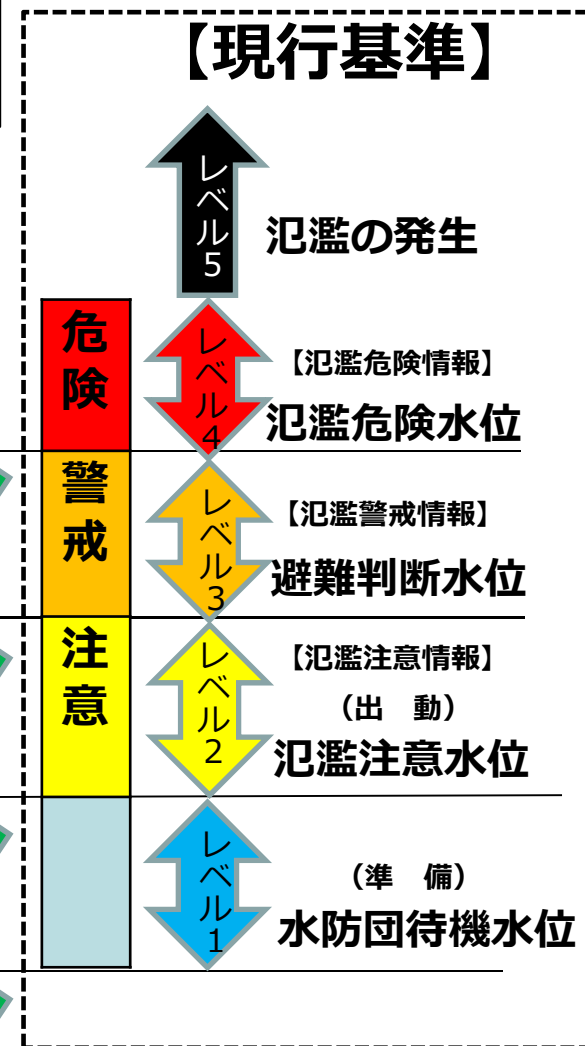
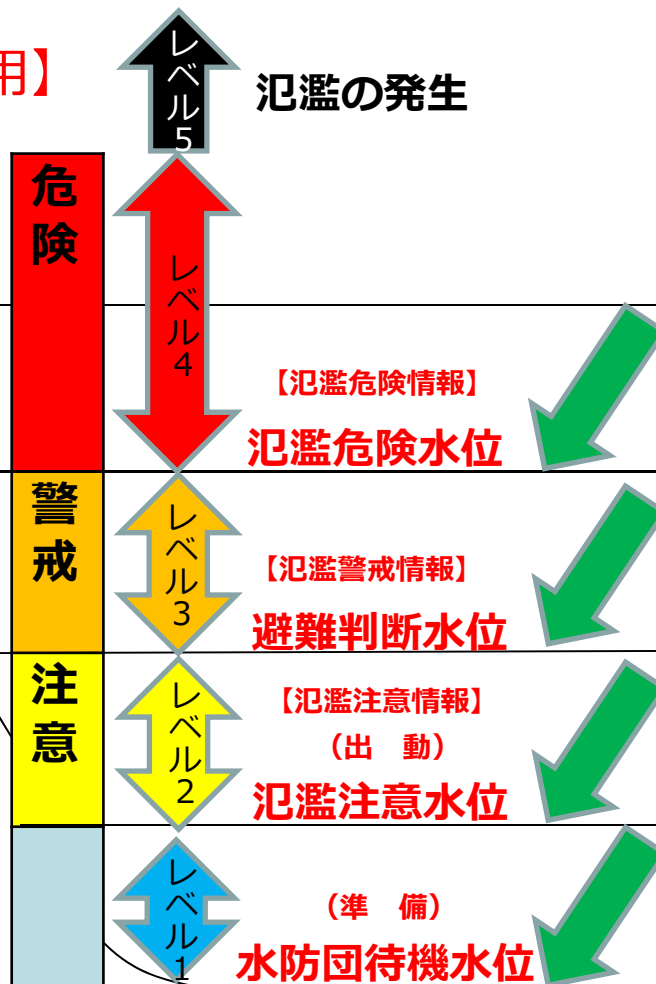
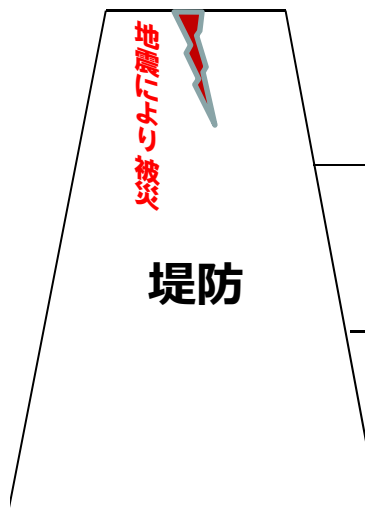
「川の防災情報」から、降雨、河川水位等の情報を入手できます。
パソコン：<http://www.river.go.jp/> スマートフォン：<http://www.river.go.jp/s/>

水防警報、洪水予報の基準水位の暫定な引き下げ【4月28日から】

【別紙1】

早期の警戒体制を確立し、早めの水防活動や早めの避難に資するため、水防警報及び洪水予報の基準水位を暫定的に引き下げます。

【被災を踏まえた暫定運用】



参考			
水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位。	のり崩れ、洗掘、漏水などの災害が発生する危険性がある水位。水防団が出動して河川の警戒にあたる水位。	市町村長による避難準備情報の発令判断の目安であり、住民のはん濫に関する情報への注意喚起になる水位。	市町村長による避難勧告等の発令判断の目安であり、住民の避難判断の参考になる水位。

【 】書：洪水予報
()書：水防警報

水防警報・洪水予報の暫定運用水位

上段：現行の基準水位

下段：暫定運用の基準水位

水系名	予報区域名	河川名	洪水予報 基準地点	量水標設 置場所	水防団 待機水 位	氾濫注 意水位	避難判 断水位	氾濫危 険水位
					レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
緑川	緑川水系	緑川	中甲橋	下益城郡美里町岩下	2.00	3.00	4.10	4.60
					1.70	2.00	3.00	4.10
緑川	緑川水系	緑川 浜戸川	城南	熊本市南区城南町大字千町	3.30	4.30	5.80	6.20
					2.90	3.30	4.30	5.80
緑川	緑川水系	御船川	御船	上益城郡御船町大字御船	2.00	3.00	3.60	4.30
					1.60	2.00	3.00	3.60
緑川	緑川水系	加勢川	大六橋	上益城郡嘉島町三郎無田	2.50	3.20	3.90	4.40
					2.20	2.50	3.20	3.90
白川	白川	白川	代継橋	熊本市中央区紺屋今町	2.50	3.70	4.70	5.00
					2.00	2.50	3.70	4.70

●洪水予報発表とは・・・

国土交通省 熊本河川国道事務所

気象庁 熊本地方気象台

共同発表

■洪水予報の種類

1)洪水注意報

- 氾濫注意情報・・・氾濫注意水位に到達し、更に水位の上昇が見込まれるとき、注意を促す為に発表されます。

2)洪水警報

- 氾濫警戒情報・・・避難判断水位に到達し、更に水位の上昇が見込まれるとき、警戒を促す為に発表されます。
- 氾濫危険情報・・・氾濫危険水位に到達し、氾濫の恐れが高まり、嚴重に警戒を行う必要があるときに発表されます。
- 氾濫発生情報・・・氾濫が発生したときや、継続しているときに発表されます。

【参考】

- 氾濫注意水位・・・水防団が水防活動を行う目安となる水位
- 避難判断水位・・・市町村等が避難行動の準備を行う目安となる水位
- 氾濫危険水位・・・氾濫の恐れがあり、避難行動を行う目安となる水位

水防団、関係行政機関、一般住民の方等へ情報伝達

- 一般住民の方への情報伝達は、テレビ・ラジオにより放送されるとともに、警察署、消防署、水防団などの連絡によって伝達される場合もあります。